

いつか定期船の就航がかない、大岡川沿いの街を船で移動できたらいいな。



みなとみらいを背景に、音楽と海風と波に揺れ……「ラテンライブクルーズ」。撮影:山崎博史

うなことは不可能だ。季節の風を感じながらみなとみらいまで出かけたり、日ノ出町や蒔田公園散策に出かけたり、そんなゆとりある日常が持てたらいい。そんな環境を整える事が、さらにこの大岡川を守ることになるだろう。

そしてとうとう、待ちわびた満開の桜を愛でる時がやって来た。皆で流域の清掃をして、ここに暮らす生き物や植物を見守りながら、四季の移り変わりを感じてきた我々の大岡川の晴れ姿を見る思いだ。ベネチア号で桜のトンネルを抜け、これもまた桜で彩られたみなとみらいのビル群や赤レンガ倉庫などの伝統的な横浜の町並みに圧倒され、生活に密着した運河沿いの桜の集落に帰

る、という夢のようなクルーズだった。風情に満ちた都橋商店街やフェンスで遮られた古い護岸階段などに、昔の大岡川を思ってみた。横浜港は産業港湾としての整備が中心だったこともあり、大岡川流域も、市民が気軽に水面近くまで下りられる場所が少ない。これほど魅力的な流域だが定期船はなく、例えば、日ノ出棧橋で乗船してみなとみらいで下船するよ



人気の花見クルーズ、ラテンライブクルーズに加え、船上ライブや船上ウエディング、横浜運河探検クルーズなど、小型船ならではの多彩な企画に対応している。http://www.yokohamacruise.com

横浜にとって、今も昔も水辺は大切なインフラ。単に水運交通の場としてだけではなく、人と人をつなぐコミュニティを形成する場となっている。

桜棧橋が家族連れでにぎわうことも、ほんの十数年前には考えられないことだったそうだ。これは、市民の水辺利用を身近にしようとした様々な市民プロジェクトの賜物だ。

大岡川に定期船が開通することも不可能ではないはずだ、と新たな夢に思いを馳せた今回の自転車探訪だった。



BROMPTON M3L color:グリーン/ブラック 変則段数:3Speed 重量:11.6kg ホール:16inch GREEN CYCLE STATION http://www.gcs-yokohama.com

大岡川に、暮らす、働く、学ぶ、遊ぶ、人

株式会社東京ベイガード・永井 等(ながいひとし)さん

「大岡川にベネチア号あり」オーナーの永井さんは、街の人気者。その上、春の繁忙期まっただ中。そんな折りに、突然うかがった我々を「やあ、いらっしゃい!」と、頼もしい海の男の笑顔が迎えてくれた。

日ノ出棧橋のベネチア号だけでなく、横浜湾のサンタバルカ号、海と河川に2隻の観光船を率い、街の皆からは「永井船長」と呼ばれている。

永井船長は、世界各国の港を結ぶ外航船で航海士を務められた後、サンタバルカ号を羽田空港滑走路建設時の交通船、

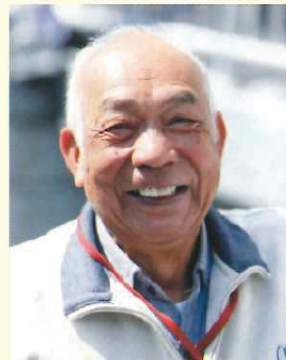
作業船として就航させた。滑走路が完成した後の2010年から、サンタバルカ号は観光船へと生まれ変わり、工場夜景や羽田空港海上観覧等、様々な船からの景色を紹介し、海上から見る街の魅力を伝えてきた。

そして2016年には、大岡川日ノ出棧橋の活性化につなげた、とベネチア号を就航させた。大変な苦勞もされたはずだが、そんな話が出る暇もない。約半世紀の間、船に携っていらした永井船長ならではの水辺の魅力を、大きな声でとうとうと伝えてくださる。



工場夜景プールの火付け役も、永井船長のサンタバルカ号だった。撮影:豊田直之

船を愛し、海、川、そして植物や全ての生き物に愛情たっぷりの永井船長の船からしか見られない横浜の景色がある。船長のツアーに参加し、アナウンス



今も昔も、皆の夢を乗せて走る永井船長。撮影:豊田直之

に耳を傾け、人柄に触れる。それだけで、水辺を愛せるようになる。そんな船が、この横浜、そして大岡川にあることを、船長の笑顔同様、頼もしく思った。共感者が集まり、大岡川流域が、ますます活性化することを改めて願わずにはられない。

ベネチア号 http://www.yokohamacruise.com サンタバルカ号 http://www.santa-barca.com

昼も夜も、街の皆に愛され続ける洋食屋さん 『ブラッセリー・マルミット』

BRASSERIE MARMITE 横浜市南区宿街 2-36 グレース肆田 045-731-3254



温かみあふれる店内で居心地もバツグン。撮影:豊田直之

「どうぞ、お好きな席へ」と案内される。後から訪れる方に申し訳ない気がするが、常連さんらしく「また来るよ」と心得ていらっしゃる。

周辺に詳しい方に「いいお店知らない?」と聞くと、必ず登場する人気店。時田駅から吉野町方向に鎌倉街道から一本入った裏通りにある。

フランス語で、ブラッセリーは大衆食堂、マルミットは鍋の意味。子供からお年寄りまで、皆が食事を囲み楽しい時間を過ごして欲しいと13年前に開店した。

広く清潔な店内に、大きなテーブル。少人数で行っても

ありがたいのはこのことだけでなく、全品880円(ドリンク2杯とサラダ付)のランチメニューや毎週木曜夜の10%オフ。きわめつけは、毎週水曜日17:30~20:30の女性限定500円飲み放題だろう。レストランと呼べるほどの豊富で凝ったメニューもある。

不安になって聞いてみたところ「誰もやっていない事をやらないとね」とのこと。シェフ一人で切り盛りする手際の良



店主の久保 悟シェフ。「お客様の小さな驚きと笑顔がシェフとしての糧になります」。撮影:豊田直之

さ、これが既に、なかなかできないことだ。

ぼくとつとした風貌で、話してみると誠実で気さくで、時々よく分からない冗談も言ってくれる包容力のシェフ。料理は器量。こんな方の料理は、おいしいに決まっている。



舌平目のきのこクリームソースと迷ったが……記者のお気に入り、ハンバーグステーキ。撮影:豊田直之

大岡川の『生き物みーつけた!』 No.4 イシガニ



近づくと、強靱なハサミで威嚇してきた。間違えて挟まれたら大変だ。撮影:豊田直之

桜棧橋付近の川底にひそんでいた、甲羅の幅が12cmほどもあるイシガニ。東京湾をはじめ潮干狩りなどでも馴染みの、その名の通り

り石のように硬いカニです。未成熟のものは、甲羅一面に毛が生えていて、青と白の模様ははっきりしています。成熟すると、毛が抜けて模様が消え、写真のような青黒い硬質なたくましい姿になります。ワタリガニの仲間では見ませんが平たくならな最後尾の脚で素早く泳いで移

動することもできるのです。英語圏では「Swimming Crab」と呼ばれています。

あまり値段がつかないために、マダコ釣りのエサになったり、自家消費されることが多いですが、熱を通され鮮やかな赤になったイシガニのみそ汁など、味はお墨付きです。

それから、カニやエビの仲間は、死んで川底に沈んだサカナなどを食べて川を掃除してくれる清掃動物の働きを担っています。大岡川に本来棲んでいた生き物たちがもって増えて、生物学的な浄化が進めば、この大都会を流れる里川も理想的な川になっていくことでしょう。



しえあひるずヨコハマ SHARE HILLS YOKOHAMA 居住空間と展望台のレンタルスペース

https://www.facebook.com/sharehills/

新車販売 車検 板金

加賀美自動車

南区永田南1-4-10 045-741-7321 info@kagami-car.com



株式会社 大貫カメラ TEL 045-231-0306

〒231-0065 横浜市中区吉田町2-47 大貫ビル1F http://www.camera-ohnuki.com

登良屋

天麩羅・肴 横浜市中区吉田町2-3 045-251-2271



横濱の老舗

勝烈庵